



SDE-3

SDE-3

取扱説明書

目次

SDE-3 取扱説明書	3	出力モードを変更する	17
各部の名称とはたらき	4	ステレオ・ディレイの効果を設定する	21
電源を入れる／切る	8	工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）	23
電池交換のしかた	10	トラブルシューティング	25
外部ペダルを接続する	12	主な仕様	26
フットスイッチの機能について（CTL FUNCTION）	12		
エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする（EXP FUNCTION）	14		
外部 MIDI 機器から本機をコントロールする ...	16		

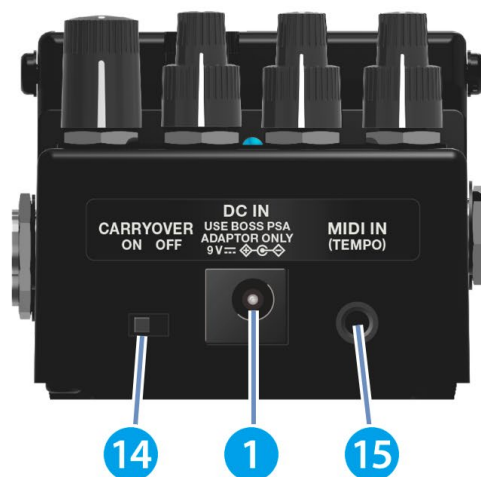
SDE-3 取扱説明書



本機を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」と「使用上のご注意」（『安全上のご注意』チラシ）をよくお読みください。お読みになったあとは、すぐに見られるところに保管しておいてください。

© 2024 Roland Corporation

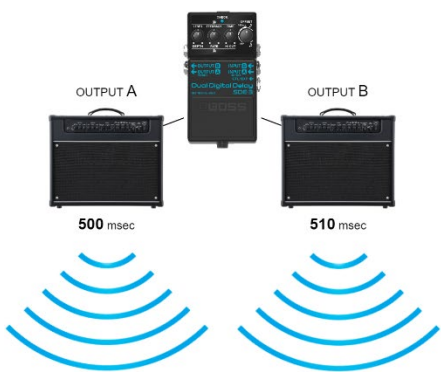
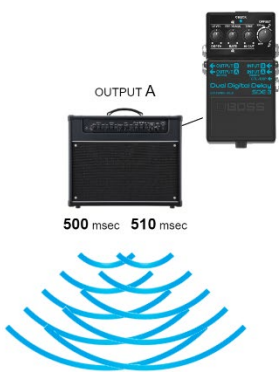
各部の名称とはたらき

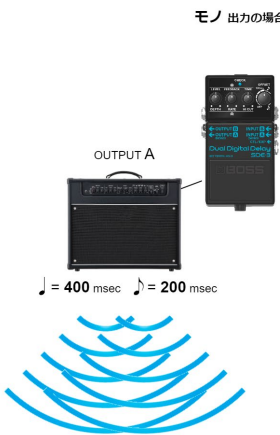


名称	機能
1 DC IN 端子	AC アダプター（別売：PSA-100）を接続する端子です。 * AC アダプターは、必ず指定のもの（別売：PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。 * 電池が入っている状態で AC アダプターを接続すると、電源は AC アダプター側から供給されます。
2 CHECK (チェック) インジケータ	エフェクト・オン／オフの表示、チャンネルの表示、バッテリー・チェックの機能を兼ね備えたインジケータです。 エフェクト・オン時に点灯して、オフ時に消灯します。 * インジケータが暗くなったり点灯しなくなったりしたときは、電池が消耗していますので、新しい電池と交換してください。 →「電池交換のしかた(P.10)」

名称	機能
3 OUTPUT A (MONO) 端子 OUTPUT B 端子	アンプやモニター・スピーカーに接続します。 モノで使用するときには、A (MONO) 端子のみに接続します。 * ステレオで使用するときは OUTPUT A (MONO) 端子と OUTPUT B 端子を使用してください。 * OUTPUT A (MONO) 端子と OUTPUT B 端子の両方に接続すると、OUTPUT MODE の設定に応じた効果が得られます。 →「出力モードを変更する(P.17)」
4 INPUT A (MONO) 端子 INPUT B 端子	ギターやエフェクターを接続します。 接続には、標準プラグ (TS) ↔ 標準プラグ (TS) の接続ケーブルを使います。 * INPUT A (MONO) 端子は、電源スイッチも兼ねています。INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込むと電源がオンになります。 →「電源を入れる／切る(P.8)」
5 CTL/EXP 端子	● CTL (コントロール) 端子として使う フットスイッチ (別売：FS-5U、FS-6、FS-7) を接続して、タップ・テンポやモーメンタリー・スイッチ機能をコントロールすることができます。 フットスイッチの設定については「フットスイッチの機能について (CTL FUNCTION) (P.12)」をご覧ください。 ● EXP (エクスプレッション) 端子として使う エクスプレッション・ペダル (別売：EV-30、Roland EV-5 など) を接続して、エクスプレッション・ペダルのつまみ先側とかかと側のエフェクト設定を連続的に変化させることができます。 機能の設定については「エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする (EXP FUNCTION) (P.14)」をご覧ください。 * エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。
6 ペダル・スイッチ	エフェクト・オン／オフの切り替えや、各機能のスイッチです。エフェクトのオン／オフを切り替えます。 長押しすると、タップ・テンポを使うことができます (タップ・テンポ・モード)。 タップ・テンポ・モード ペダル・スイッチを 2 秒以上押して、テンポ・モードに切り替えます (CHECK インジケータ―青／赤の交互点灯)。 曲のテンポに合わせて、4 分音符の間隔でペダル・スイッチを押します。 ペダル・スイッチを 2 秒以上押して、設定を終了します。
7 [LEVEL] つまみ	エフェクト音の音量を調節します。 右に回すほど、エフェクト音が大きくなります。
8 [FEEDBACK] つまみ	フィードバック量を調節します。 右に回すほど、ディレイ音の繰り返し回数が多くなります。

名称	機能
9	[TIME] つまみ ディレイ・タイムを調節します。 右に回すほど、ディレイ・タイムが長くなります。 ディレイ・タイムは 0～800msec の間で可変することができます。 * OUTPUT B 端子のみに接続すると、ディレイ・タイムが最大 1,600msec (ロング・ディレイ) になります。 → 「ロング・ディレイ (P.17)」
10	[DEPTH] つまみ モジュレーションの深さを設定します。
11	[RATE] つまみ モジュレーションの速さを設定します。
12	[HI CUT] つまみ フィードバック音の高域成分をカットする量を調節します。
13	[OFFSET] つまみ OUTPUT B のディレイ・タイムをずらして、左右で異なるディレイ・タイムを設定します (OFFSET)。 タップ・テンポでディレイ・タイムを変えても、OFFSET の状態は維持されます。 OUTPUT B の値は、OUTPUT A の値から OFFSET の設定分だけさらに遅れた値になります。 OFFSET が「OFF」のときは、左右同時に鳴ります。 10msec に設定した場合、微妙に左右のディレイ・タイムをずらしたサウンドを空間合成して、広がりのあるディレイ・サウンドを作り出すことができます。 わずかにズレた音を鳴らすことで広がりのある音を作ったり、ダブリング・サウンドを作ったりすることができます。 ギターのバックングに厚みを出したいときや、バンド・サウンドに迫力を出したいときにお試しください。 例 1) TIME を 500msec、OFFSET を 10msec に設定した場合は、OUTPUT A から 500msec、OUTPUT B から 500msec+10msec (OFFSET) のわずかにずれた広がりのあるサウンドが得られます。 

名称	機能
	ステレオ 出力の場合  モノ 出力の場合  注意 OFFSET を「OFF」に設定すると、出力音量が大きくなります。 例 2) TIME を 400msec、OFFSET を 8 分音符 (♪) に設定した場合は、OUTPUT A から ♪ (400msec) 、OUTPUT B から ♪ (200msec) の音出力されます。 * TIME で設定した長さが、4 分音符 (♪) の長さになります。TIME が 400msec のときは、BPM=150 です。 

名称	機能
	ステレオ 出力の場合  モノ 出力の場合  TIME を 400msec、OFFSET を付点 8 分音符 (♪) に設定した場合、OUTPUT A から ♪ (400msec)、OUTPUT B から ♪ (300msec) の音出力されます。 [OFFSET] つまみの ♪ と ♪ の間は、音のズレが徐々に変わります。
14	【CARRYOVER】スイッチ エフェクトをオフにしたときにディレイ音が残る (ON) か、残らない (OFF) か選ぶことができます。
15	MIDI IN 端子 外部機器からのタイミング・クロックを受信します。 通常は内蔵テンポで動作しますが、MIDI IN 端子から MIDI クロックが入力された場合、MIDI クロックにテンポ同期します。 この場合、タップ・テンポでテンポ設定することはできません。 ● TRS/MIDI コネクティング・ケーブル (別売：BMIDI シリーズ、BCC シリーズ) で、外部 MIDI 機器に接続します。 ● オーディオ機器を接続しないでください。故障の原因になります。

* 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

* 抵抗入りの接続ケーブルは使用しないでください。

電源を入れる／切る

* 正しく接続したら、必ず次の手順で電源を入れてください。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりすることがあります。

* 電源を入れる／切るときは、接続したすべての機器の音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

電源を入れるとき

1. INPUT A (MONO) 端子にプラグを接続します。

SDE-3 の電源が入ります。

エフェクトがオフ（インジケーターが消灯）の状態ですべて起動します。

メモ

起動時にインジケーターが一定時間点灯します。

2. アンプなどの電源を入れます。

電源を切るとき

1. アンプなどの電源を切ります。
2. INPUT A (MONO) 端子からプラグを抜きます。

SDE-3 の電源が切れます。

電池交換のしかた

電池について

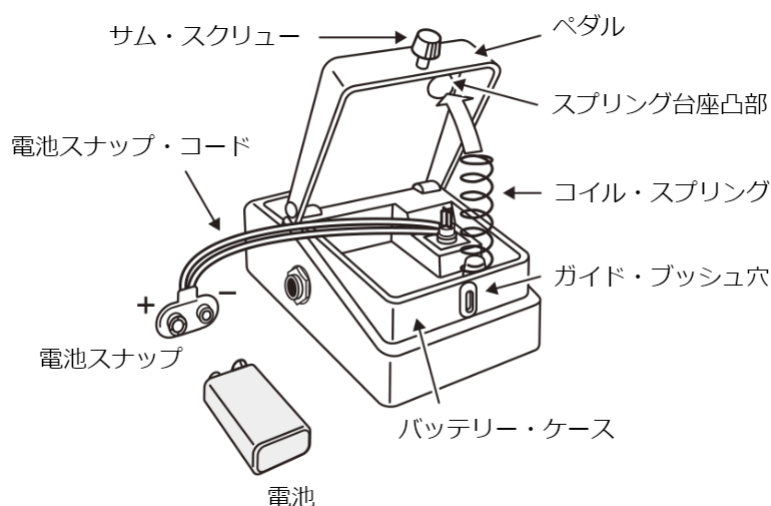
- 電池で使用する場合はアルカリ電池を使用してください。
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりする恐れがあります。チラシ「安全上のご注意」「使用上のご注意」に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。
- この機器には、工場出荷時に電池がセットされています。この電池は検査用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池の消耗が著しいと音が歪みやよくなる場合がありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、別売の AC アダプターを使用してください。

注意

- 電池駆動のときは、電池が消耗してくると CHECK インジケーターが暗くなります。早めに電池を交換してください。
- 電池駆動のときにノイズが気になる場合は、電池が消耗している可能性があります。電池の交換や別売の AC アダプターの使用をお試しください。
- 電池駆動のときに CHECK インジケーターが点灯／消灯を繰り返す場合は、電池が消耗している可能性があります。電池の交換や別売の AC アダプターの使用をお試しください。

電池を交換する

- * 電池のセットや交換は、誤動作や故障を防ぐため、他の機器と接続する前にしてください。



1. ペダル・スイッチを押さえながらサム・スクリューをゆるめて、ペダルを上を開きます。
サム・スクリューを完全に取りはずさなくても、ペダルが開けられます。
2. バッテリー・ケースから電池を取り出し、電池スナップをはずします。
3. 新しい電池を電池スナップに接続し、バッテリー・ケースに入れます。

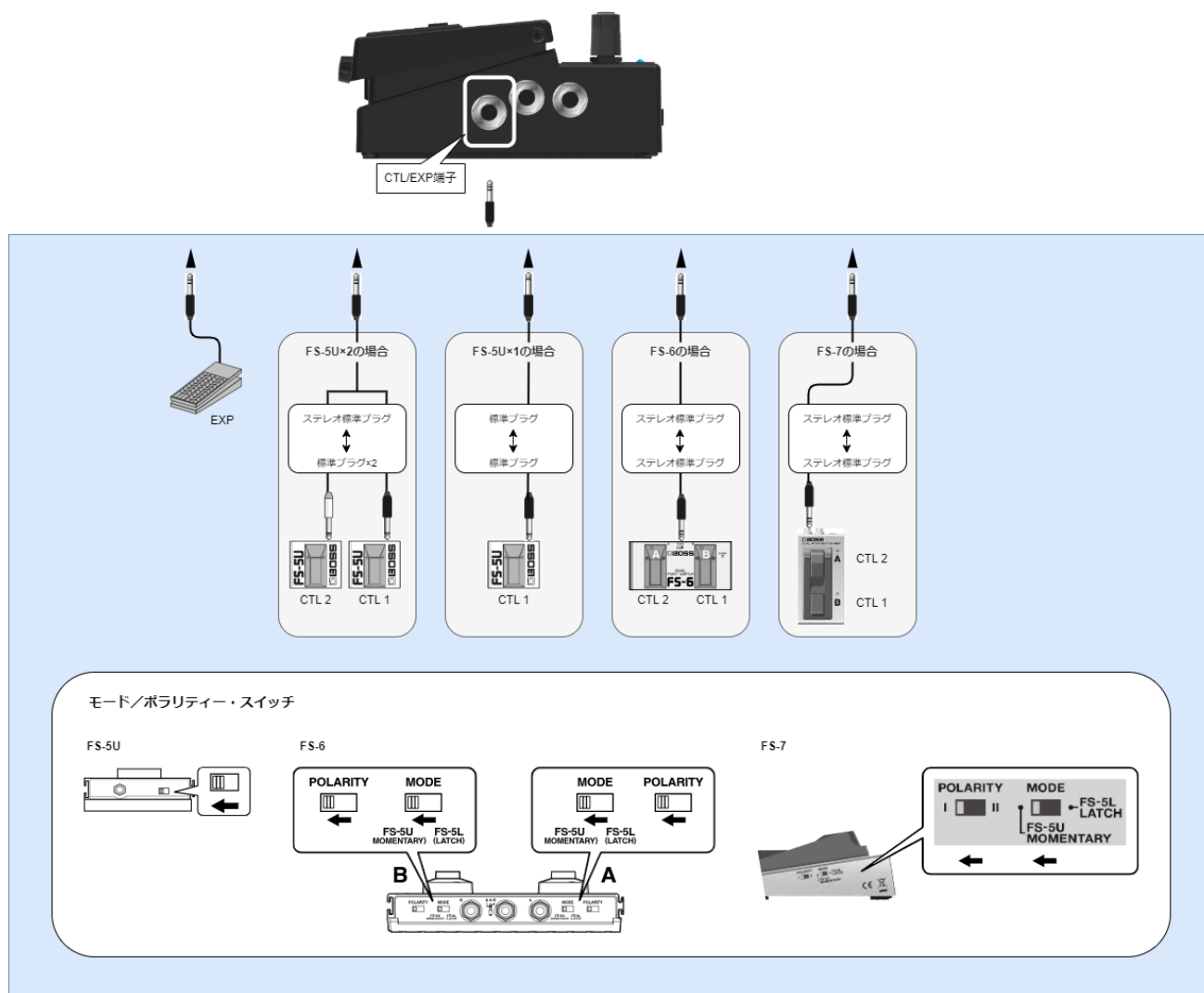
電池の極性（＋／－）を間違えないようにご注意ください。

4. コイル・スプリングをペダル裏のスプリング台座凸部に入れ、ペダルを閉じます。

ペダルやコイル・スプリング、バッテリー・ケースなどに、電池スナップ・コードをはさまないようにご注意ください。

5. サム・スクリューをガイド・ブッシュ穴に入れ、確実に締めてください。

外部ペダルを接続する



フットスイッチの機能 (CTL FUNCTION)

→ フットスイッチの機能について (CTL FUNCTION) (P.12)

エクスプレッション・ペダルの機能 (EXP FUNCTION)

→ エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする (EXP FUNCTION) (P.14)

フットスイッチの機能について (CTL FUNCTION)

CTL 1, 2/EXP 端子にフットスイッチ（別売：FS-5U、FS-6、FS-7）を接続すると、以下の機能をコントロールすることができます。

注意

ラッチ・タイプのフットスイッチ（FS-5L）は使用できません。

この機能を変更することはできません。

コントロール	説明
CTL1	TAP TEMPO 機能でテンポを設定します。 演奏曲のテンポに合わせてスイッチを押すと（タップ入力）、演奏曲とタイミングの合ったディレイ・タイムを簡単に設定することができます。
CTL2	HOLD 機能をオン／オフします。 スイッチを押している間、ディレイ音を繰り返します（ホールド・モード）。

エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする (EXP FUNCTION)

CTL/EXP 端子にエクスプレッション・ペダル（別売：Roland EV-5 など）を接続すると、[LEVEL] つまみ、[TIME] つまみ、[FEEDBACK] つまみの設定をエクスプレッション・ペダルでコントロールすることができます。

工場出荷時の設定は、[LEVEL] つまみの値になっています。

エクスプレッション・ペダルのつま先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの音色と、かかと側を踏み込んだ最小値（MIN）のときの音色を設定して、連続的に変化させることができます。

エクスプレッション・ペダルでコントロールするつまみ（パラメーター）を、以下の設定で選びます。

* エクスプレッション・ペダルは、必ず指定のものをお使いください。他社製品を接続すると、本体の故障の原因になる場合があります。

1. [OFFSET] つまみを、最大値 (MAX) まで回します。
2. [OFFSET] つまみ以外は、最小値 (MIN) まで回します。



3. ペダル・スイッチを押しながら INPUT A (MONO) 端子にプラグを差し込みます。

CHECK インジケーターが青点滅します。

4. 各つまみで、かかと側を踏み込んだ最小値 (MIN) のときの音色を設定します。
5. ペダル・スイッチを押します。

CHECK インジケータが赤点減に変わります。

6. 各つまみで、つま先側を踏み込んだ最大値（MAX）のときの音色を設定します。

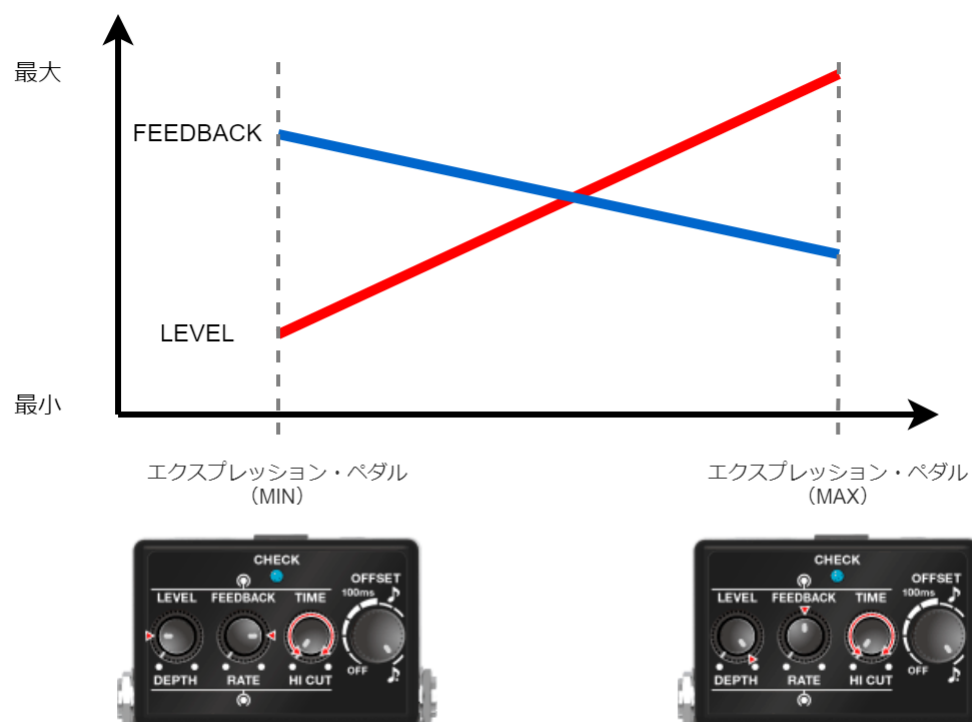
メモ

同時に複数のパラメーターをコントロールしたい場合は、対象のつまみを回して設定します。

最小値 (MIN) と最大値 (MAX) のつまみの位置が変わっていないときは、コントロールの対象からはずれます。

7. もう一度ペダル・スイッチを押して、設定を終了します。

[LEVEL] つまみと [FEEDBACK] つまみを設定したときの値の変化例



TIMEは、つまみの位置の値で一定になります。

外部 MIDI 機器から本機をコントロールする

外部 MIDI 機器からタイミング・クロックを受信すると、SDE-3 のディレイ・タイムと外部機器との同期演奏をすることができます。

タイミング・クロックによる外部 MIDI 機器との同期

タイミング・クロック（F8H）を受信すると、SDE-3 は外部機器のテンポに同期します。

- **タイミング・クロックによる同期中は、以下の操作での SDE-3 のテンポ設定はできません。**
 - SDE-3 のペダル・スイッチやつまみ操作、SDE-3 にフットスイッチを接続してのテンポ設定（タップ・テンポ）
- **タイミング・クロックによるテンポは、本体に記憶されません。**
- **タイミング・クロックは、MIDI のシステム共通情報に属します（システム・リアルタイム・メッセージ）。したがって、MIDI チャンネルの設定はありません。**

出力モードを変更する

SDE-3 の出力モードは、3 種類の中から選ぶことができます。

モード	[OFFSET] つまみの位置	インジケータ の 色	説明
ステレオ出力	OFF	青点減	ダイレクト音 (Dry) とエフェクト音 (Wet) をミックスした音が、OUTPUT A (MONO) 端子と OUTPUT B 端子から出力されます。 ノーマル・ディレイ インプットがモノの場合は、OUTPUT A (MONO) 端子のみに接続すると、通常のディレイ・タイムです。 インプットがステレオの場合は、OUTPUT A (MONO) 端子、OUTPUT B 端子のどちらか、または両方に接続しても通常のディレイ・タイムです。 0~800msec ロング・ディレイ インプットがモノの場合は、OUTPUT B 端子のみに接続するとディレイ・タイムが 2 倍になります。 0~1,600msec
エフェクト音 (Wet) +ダイレクト音 (Dry)	8 分音符	赤点減	エフェクト音 (Wet) が OUTPUT A (MONO) 端子から、ダイレクト音 (Dry) が OUTPUT B 端子から出力されます。
ダイレクト・ミュート	付点 8 分音符	ピンク点減	エフェクト音 (Wet) のみが OUTPUT A (MONO) 端子と OUTPUT B 端子から出力されます。

出力モードを変更するときは、以下の操作をします。

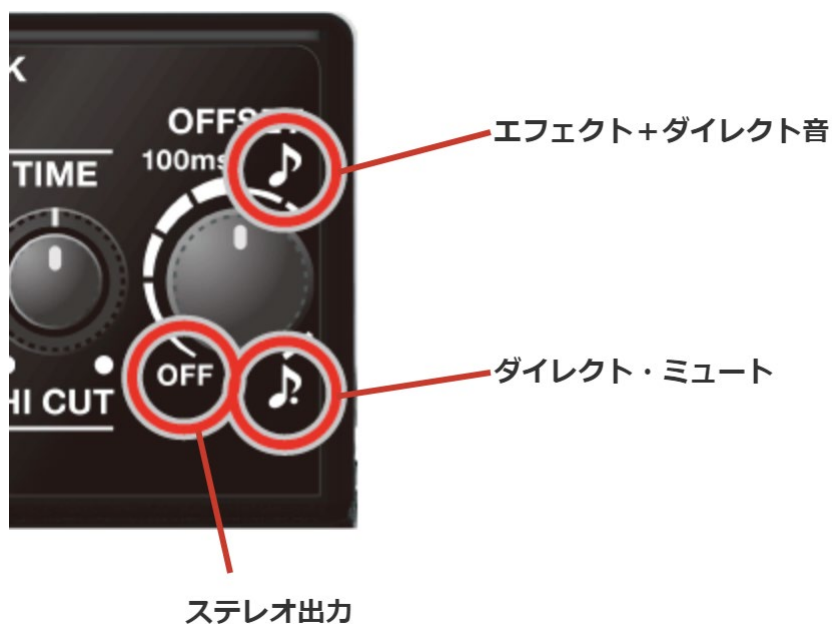
1. SDE-3 の電源をオフにします。
2. [TIME] つまみを最大値 (MAX) まで回します。
3. [TIME] つまみ以外は、最小値 (MIN) まで回します。



4. ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。

CHECK インジケーターが点滅し、設定モードに入ります。

5. [OFFSET] つまみを、設定したい出力モードに対応した位置に合わせます。



6. ペダル・スイッチを押して設定を保存します。

ペダル・スイッチを押すと、設定を保存します。

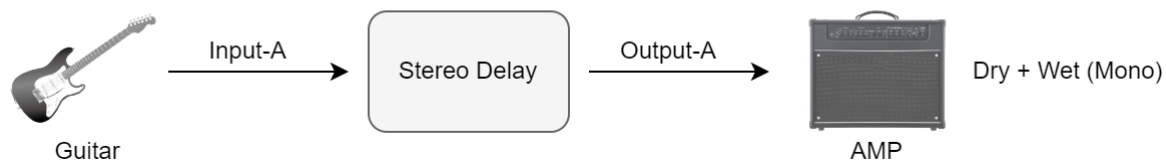
設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

この設定は、電源をオフにしても保存されます。

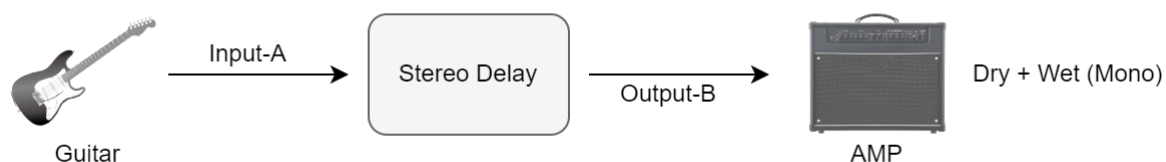
接続方法

アンプを 1 台使用する場合 (1 in 1 out)

出力モード：ステレオ出力



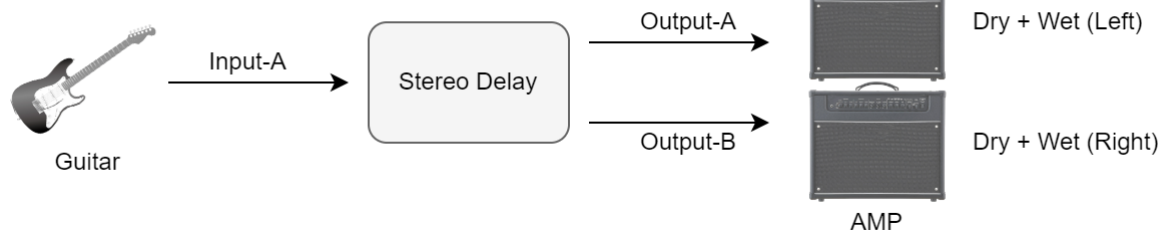
出力モード：ステレオ出力



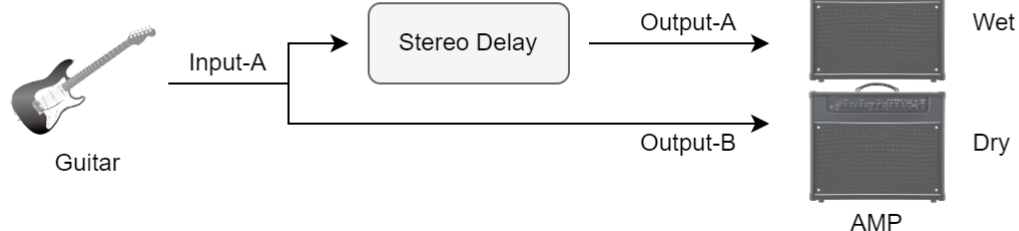
Output-Bのみに接続すると、ディレイ・タイムが2倍になります。

アンプを 2 台使用する場合 (1 in 2 out)

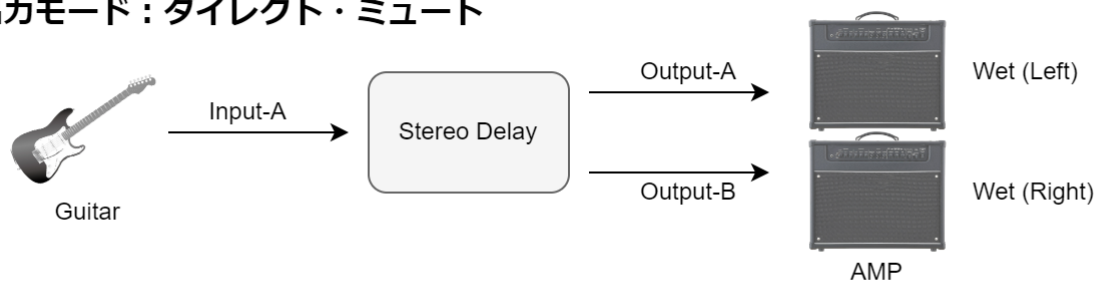
出力モード：ステレオ出力



出力モード：エフェクト音+ダイレクト音



出力モード：ダイレクト・ミュート



ダイレクト・ミュートのときは、エフェクト音（Wet）のみが出力されます。

ステレオ・ディレイの効果を設定する

ステレオ・ディレイとして使用するときの効果を設定します。ステレオ・ディレイの効果は、ステレオかパンニングを選ぶことができます。

モード	効果	説明
STANDARD	完全独立ステレオ	A/B 完全独立のディレイです。
PAN	パンニング	パンニング・ディレイです。

* ステレオ・ディレイの接続方法について、詳しくは「[接続方法\(P.19\)](#)」をご覧ください。

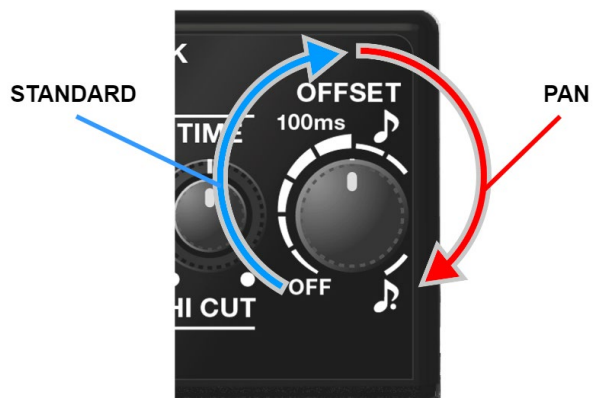
1. SDE-3 の電源をオフにします。
2. [RATE] つまみを最大値 (MAX) まで回します。
3. [RATE] つまみ以外は、最小値 (MIN) まで回します。



4. ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします (INPUT A (MONO) 端子にプラグを接続します)。

CHECK インジケータが点灯し、設定モードに入ります。

5. [OFFSET] つまみを、設定したいステレオ・ディレイの効果に対応した位置に合わせます。



モード	効果	インジケーターの色	説明
STANDARD	完全独立ステレオ	青点滅	A/B 完全独立のディレイです。
PAN	パンニング	赤点滅	パンニング・ディレイです。

工場出荷時は「STANDARD」に設定されています。

6. ペダル・スイッチを押します。

ペダル・スイッチを押すと、設定を保存します。

設定が保存されると、通常の状態に戻ります。

この設定は電源をオフにしても保存されます。

工場出荷時の設定に戻す（ファクトリー・リセット）

1. SDE-3 の電源をオフにします。
2. [CARRYOVER] スイッチを OFF にします。



3. [HI CUT] つまみを最大値（MAX）まで回します。
4. [HI CUT] つまみ以外は、最小値（MIN）まで回します。



5. ペダル・スイッチを押しながら電源をオンにします（INPUT A（MONO）端子にプラグを接続します）。

CHECK インジケーターが**ピンク点滅**します。

6. ペダル・スイッチを押します。

CHECK インジケーターが高速で**ピンク点滅**します。

CHECK インジケーターが**ピンク点灯**に変わったら、SDE-3 が工場出荷時の設定に戻ります。

7. 電源を切ります（INPUT A（MONO）端子からプラグを抜きます）。

SDE-3 の設定は、以下のように設定されます。

パラメーター	設定値
EXP FUNCTION → 「 エクスプレッション・ペダルでつまみをコントロールする（EXP FUNCTION）（P.14） 」	LEVEL
出力モード → 「 出力モードを変更する（P.17） 」	STEREO
ステレオ・ディレイの効果 → 「 ステレオ・ディレイの効果を設定する（P.21） 」	STANDARD

トラブルシューティング

トラブル	確認事項	対処
電源が入らない	INPUT A (MONO) 端子にプラグが接続されていますか？	プラグを正しく接続してください。
	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
	指定の AC アダプターPSA-100 が正しく接続されていますか？	AC アダプターを正しく接続してください。
CHECK インジケーターが暗い／CHECK インジケーターが点灯と消灯を繰り返す	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
音が出ない／ディレイ音が出ない／ダイレクト音が出ない	出力モードの設定が正しく設定されていますか？	出力モードの設定と OUTPUT 端子の接続を確認してください。
	OUTPUT 端子に出力装置が正しく接続されていますか？	
ディレイをオフにしたときディレイ音が残らない	【CARRYOVER】スイッチ(P.8)は「ON」になっていますか？	【CARRYOVER】スイッチ(P.8)が「OFF」のときはディレイ音が残ります。
出力音にノイズが入る	電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。

主な仕様

サンプル・レート	48kHz
AD 変換	24 ビット + AF 方式 * AF 方式 (Adaptive Focus method) は AD コンバーターの SN 比を飛躍的に向上させるローランド／ボス独自の方式です。
DA 変換	32 ビット
規定入力レベル	INPUT A (MONO) 、INPUT B : -20dBu
最大入力レベル	INPUT A (MONO) 、INPUT B : +7dBu
入力インピーダンス	INPUT A (MONO) 、INPUT B : 1MΩ
規定出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : -20dBu
最大出力レベル	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : +7dBu
出力インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : 1kΩ
推奨負荷インピーダンス	OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B : 10kΩ 以上
バイパス	バッファード・バイパス
コントロール	[TIME] つまみ [FEEDBACK] つまみ [LEVEL] つまみ [DEPTH] つまみ [RATE] つまみ [HI CUT] つまみ [OFFSET] つまみ ペダル・スイッチ [CARRYOVER] スイッチ
インジケーター	CHECK インジケーター (テンポ、バッテリー・チェック兼用)
接続端子	INPUT A (MONO) 、INPUT B、OUTPUT A (MONO) 、OUTPUT B 端子 : 標準タイプ CTL/EXP 端子 : TRS 標準タイプ DC IN 端子 MIDI IN 端子 : ステレオ・ミニ・タイプ
電源	アルカリ電池 (9V 形) AC アダプター (別売)
消費電流	75mA
連続使用時の電池の寿命	アルカリ電池 : 約 4.5 時間 * 使用状態によって異なります。
外形寸法	73 (幅) × 129 (奥行) × 59 (高さ) mm
質量 (乾電池含む)	450g

付属品	チラシ（安全上のご注意、使用上のご注意、お問い合わせの窓口） アルカリ電池（9V 形）；本体に接続済み 保証書
別売品	AC アダプター：PSA-100 フットスイッチ：FS-5U デュアル・フットスイッチ：FS-6、FS-7 エクスプレッション・ペダル：FV-500H、FV-500L、EV-30、Roland EV-5 TRS/MIDI コネクティング・ケーブル：BMIDI-5-35、BMIDI-1-35、BMIDI-2-35、 BCC-1-3535、BCC-2-3535

* 0dBu=0.775Vrms

* 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

SDE-3

取扱説明書

01

ローランド株式会社

〒431-1304 静岡県浜松市浜名区細江町中川 2036-1

©2024 Roland Corporation